

C A B電線共同溝に関する
調査表記入マニュアル

[E220] C A B 電線共同溝基本

この調査表は、C A B及び電線共同溝、情報BOXに関する基本的データを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

- (1) データは次の単位で作成する。
 - 路線毎とする。
 - C A B設置箇所毎とする。
 - 電線共同溝設置箇所毎とする。
 - 情報BOX設置箇所毎とする。
- (2) C A B電線共同溝内の占用物件については「E221 C A B電線共同溝占用物」にて作成する。
- (3) C A B電線共同溝に関する写真・図面類については「E222 C A B電線共同溝図面類」にて作成する。
- (4) C A B電線共同溝に関する補修履歴等については「E223 C A B電線共同溝補修歴」にて作成する。

2. 記入事項

- (1) 工事番号
 - (2) 工事区分C
 - (3) 施設対応番号
 - (C) 地整C
 - (D) 事務所C
 - (E) 出張所C
 - (F) 路線
 - (G) 現旧区分C
 - (H) 整理番号1
 - (I) 整理番号2
 - (J) 整理番号3
 - (N) 補助番号
- 上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(I)、

(Y) 完成年月：◆

該当するC A B及び電線共同溝、情報B O Xが完成した年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1983年 8月 ——> 198308

(Z) 上り下り区分C：◆

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下線共通	0
上り線	1
下り線	2

(AB) 所在地自

該当する区間の始点側の所在地(字番地まで)について、30文字以内の日本語で記入する。

(AC) 所在地至

該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)について、30文字以内の日本語で記入する。

(AD) 構造型式C：◆

構造型式について、該当するコードを記入する。構造型式が複数ある場合は、代表的な構造型式を記入する。

区 分	コード	区 分	コード
ボックス形式	1	管路形式(ポリエチレン管)	6
開渠(蓋付き)形式	2	管路形式(鋼管)	7
多孔管形式	3	管路形式(プラスチック管)	8
管路形式(ヒューム管)	4	管路形式(不明)	0
管路形式(塩ビ管)	5	その他	9

(AF) 設置箇所C：◆

設置箇所について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
歩 道	1
車 道	2
中央帯(中央分離帯)	3

区 分	コード
路 肩	4
そ の 他	9

(AH) 線形区分C

線形区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
縦断（道路と平行）	1
横断（道路を横断）	2

(AJ) 工場製品場所打別C

工場製品・場所打の別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
プレキャスト（工場製品）	1
場 所 打 ち	2
そ の 他	9

(AL) 幅 (m) : ◆

(AM) 高さ (m) : ◆

上記 (AL)、(AM) については、CAB及び電線共同溝、情報BOXの全体幅・高さについて、小数点以下1位まで記入する。

管路形式（円形断面）の場合、(AL)、(AM) には外径を記入する。

(AN) 事業化延長 (m) : ◆

(AO) 本体完成延長 (m) : ◆

上記 (AN)、(AO) については、CAB及び電線共同溝、情報BOXの各延長を、小数点以下1位まで記入する。

(AP) 最大土被り (m)

(AQ) 最小土被り (m)

上記 (AP)、(AQ) については、該当する区間の土被り厚の最大値と最小値を、小数点以下1位まで記入する。なお、土被りが一定の場合は最大及び最小の記入欄に同値を記入する。

(AV) 設置道路延長 (m) : ◆

C A B 及び電線共同溝、情報BOXが設置されている道路延長を記入する。

(AW) 設置区分C : ◆

設置区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
C A B	1
電線共同溝	2
情報BOX	3

(AY) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(AZ) 市区町村自C : ◆

該当する区間の始点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード: 08401
(検査数字は含まない)

(BB) 市区町村至C : ◆

該当する区間の終点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡大洋村の場合 ——> コード: 08403
(検査数字は含まない)

[E 2 2 1] C A B 電線共同溝占用物

この調査表は、C A B及び電線共同溝、情報BOXの占用物件に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「E220 C A B電線共同溝基本」の作成単位毎とする。
- 占用物件毎とする。

2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(G-1) 現旧区分

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

(J) 整理番号3

(N) 補助番号

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)、(J)、(N)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 占用物件種別C : ◆

占用物について、該当するコードを記入する。

区	分	コード	区	分	コード
---	---	-----	---	---	-----

電 々	1	難視ケーブル	5
電 気	2	信号ケーブル	6
有線音楽放送	3	光ファイバー	7
C A T V	4	そ の 他	9

(R) 寸法

- ・ 各ケーブルについては、条数と段数を記入する。
- ・ これら以外については公称径（φ）をmm単位で記入する。

（記入例－1） 「上水道 φ200」の場合 ——> 200

（記入例－2） 「電力 3条5段」の場合 ——> 0305

(S) 占有者名

占有物件の管理者名を、10文字以内の日本語で記入する。

(T) 物件数：◆

占有物件数を記入する。

(U) 負担金（百万円）

企業の負担金について記入する。

(V) 占有延長（m）：◆

CAB及び電線共同溝、情報BOX内の占有延長（のべ延長）を、小数点以下1位まで記入する。

(W) 占有許可年月日：◆

占有許可日を記入する。（年は西暦年で記入）

（記入例） 1985年11月 8日 ——> 19851108

(X) 自管理占有別C

CAB及び電線共同溝、情報BOXの管理について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
占 用	1
自 管 理	2

(Z) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

〔E223〕 C A B 電線共同溝補修歴

この調査表は、C A B 及び電線共同溝、情報 B O X の補修履歴等に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「E220 C A B 電線共同溝基本」の作成単位毎とする。
- 補修が行われた毎とする。

2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分 C

(3) 施設対応番号

(C) 地整 C

(D) 事務所 C

(E) 出張所 C

(F) 路線

(G) 現旧区分 C

(G-1) 現旧区分

(H) 整理番号 1

(I) 整理番号 2

上記 (1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I) の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 補修年月

補修を行った年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1985年10月 ——> 198510

(Q) 補修内容 C

補修内容について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
漏水に対する補修、補強	1 1
亀裂等に対する修復、補強	1 2
沈下等に対する修復、補強	1 3
目地部に対する修復、補強	1 4
本体部（壁、歩床等）の修復、補強	1 5
その他	9 9

(S) 備考

損傷原因等について50文字以内の日本語で記入する。

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/2

E220：C A B 電線共同溝（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
名称	全角10文字			○
百米標自	999.9	k m	○	○
距離自	9999	m	○	○
百米標至	999.9	k m	○	○
距離至	9999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦	○	○
完成年月	199901	西暦	○	○
上り下り区分C	半角1文字		○	○
所在地自	全角30文字			○
所在地至	全角30文字			○
構造形式C	半角1文字		○	○
設置箇所C	半角1文字		○	○
線形区分C	半角1文字			○
工場製品場所打別C	半角1文字			○
幅	9.9	m	○	○
高さ	9.9	m	○	○
事業化延長	99999.9	m	○	○
本体完成延長	99999.9	m	○	○
最大土被り	9.9	m		○
最小土被り	9.9	m		○
設置道路延長	99999	m	○	○
設置区分C	半角1文字		○	○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

2/2

E220 : C A B 電線共同溝 (基本諸元)

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
市区町村自C	半角5文字		○	○
市区町村至C	半角5文字		○	○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E221：C A B 電線共同溝（占用物）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
占用物件種別C	半角1文字		○	○
寸法	9999			○
占用者名	全角10文字			○
物件数	99		○	○
負担金	99999	百万円		○
占用延長	99999.9	m	○	○
占用許可年月日	19990101	西暦	○	○
自管理占用別C	半角1文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E223：C A B 電線共同溝（補修歴）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
補修年月	199901	西暦		○
補修内容C	半角2文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照